

ふくしま 再生 短信

2019/9/29 二本松・ふくしま農家の夢ワイン収穫祭視察

珠玉の輝き 夢ワイン

2019年9月29日午前9時半、チームリーダー・小原壮二さん以下総勢7名、総合ワイン事業会社・ふくしま農家の夢ワイン（株）（代表取締役・斎藤誠治さん、福島県二本松市木幡字白石）収穫祭会場到着。まずは剪定鋏片手にブドウの収穫作業（左写真）。さすが専門農家の栽培だけあってブドウの房にも威厳あり（右写真）。収穫作業に続いて一同待ちを待った試飲会（左写真）。後で知ったことですが試飲の正しい順番はスパークリング→白→赤で要は口内に残らない順。「夢ワイン」は若い会社、ぶどうの苗木を植え始めたのが2011年。翌12年に

地元のりんごでシードルの製造を開始し、14年に最初のワイン誕生（[会社HP](https://www.fukuyume.co.jp/)：https://www.fukuyume.co.jp/）。事業内容を案内して頂いたのは夢ワイン取締役販売担当・大野達弘さん（右写真）。地下で熟成中の古いもので8年、酵母菌は勝沼の人の指導。大野さんは振舞われたピザの釜職人も兼務（左写真）。祭りのイベントには事業の出発点シードルの原材料林檎絞り体験（右写真）のほかにジャズバンドもあり多彩。夢ワインは耕作放棄地の開墾を端緒とするブドウ園に始まる。311の年である。（撮影・文責：若林一平）



剪定鋏片手にブドウの収穫作業（左写真）。さすが専門農家の栽培だけあってブドウの房にも威厳あり（右写真）。収穫作業に続いて一同待ちを待った試飲会（左写真）。後で知ったことですが試飲の正しい順番はスパークリング→白→赤で要は口内に残らない順。「夢ワイン」は若い会社、ぶどうの苗木を植え始めたのが2011年。翌12年に



試飲の正しい順番はスパークリング→白→赤で要は口内に残らない順。「夢ワイン」は若い会社、ぶどうの苗木を植え始めたのが2011年。翌12年に



一仁（いちじん）

原料は、日本の固有種ヤマブドウとカベルネ・ソーヴィニヨンの交配種である「ヤマ・ソーヴィニヨン」。夢ワイン現地で購入、12月24日開栓。ふくよかな香りがいいです。

地下で熟成中の古いもので8年、酵母菌は勝沼の人の指導。大野さんは振舞われたピザの釜職人も兼務（左写真）。祭りのイベントには事業の出発点シードルの原材料林檎絞り体験（右写真）のほかにジャズバンドもあり多彩。夢ワインは耕作放棄地の開墾を端緒とするブドウ園に始まる。311の年である。（撮影・文責：若林一平）



釜職人も兼務（左写真）。祭りのイベントには事業の出発点シードルの原材料林檎絞り体験（右写真）のほかにジャズバンドもあり多彩。夢ワインは耕作放棄地の開墾を端緒とするブドウ園に始まる。311の年である。（撮影・文責：若林一平）



の出発点シードルの原材料林檎絞り体験（右写真）のほかにジャズバンドもあり多彩。夢ワインは耕作放棄地の開墾を端緒とするブドウ園に始まる。311の年である。（撮影・文責：若林一平）

夢ワインは耕作放棄地の開墾を端緒とするブドウ園に始まる。311の年である。（撮影・文責：若林一平）

飯館村では・・・

2017年、放射線チームリーダー小原壮二さんはもう一つの凄い事業に着手していた。ワイナリーを目指して宗夫さんとの間で合意が成立。

翌2018年3月には京都天橋立ワイナリー、長野塩尻岩垂ワイナリー視察。同年4



7月、鴻巣高校生宗夫牧場ブドウ園草取りに集合

月、二本松ふくしま農家の夢ワイン視察。9月、山形菊池園芸さんに苗木の打診。12月、北海道池田町ブドウ酒研究所視察。

2019年1月、池田町東さんを佐須に招聘、山形菊池園芸訪問。3月、菊池園芸から苗木搬入・宗夫さん畑に

仮植え。4月、苗木を宗夫さん牧場と佐須菅野芳子さん畑に定植。5月、福島伊達農園からの苗木30本調達定植。



12月、菅野芳子畑で越冬作業